

国際学会VTCを経験して

情報工学府情報システム専攻M2 藤田 尚吾



はじめに

平成24年9月3日～6日にカナダのケベックシティで開催された国際学会 76th Vehicular Technology Conference (VTC2012-Fall) に参加し、研究発表を行いました。今回の学会では、888件の論文応募件数に対して、297件の口述発表と194件のポスター発表が行われました。

研究内容

私が所属している尾知研究室では、無線LANなどの無線通信技術に関する研究を行っています。近年、無線通信システムが搭載さ

れたデバイスが広く普及したことから、さらなる伝送速度の向上が求められています。そこで、1Gbps以上の伝送速度を実現する技術としてマルチユーザMIMO技術が注目されています。マルチユーザMIMO技術とは、送信される電波に指向性を持たせることにより、複数の端末宛の電波が互いに干渉することを抑え、通信システム全体の伝送速度を向上させる技術です。今回の発表では、電波の指向性を制御する際に必要となる処理に関して、従来よりも伝送性能を向上させる新たな手法の提案を行いました。

国際学会を通じて

今まで国内での学会発表や国際学会でのポスター発表は経験してきませんでしたが、国際学会での口述発表は今回が初めてでした。プレゼンテーションの練習を行ってから本番に臨んだため、発表自体はほぼ問題なく

終えることができました。しかし、質疑応答の際に、質問者に対して上手く説明することができませんでした。

この経験を通じて感じたことは、咄嗟に英語を話すことの難しさです。これは英語を日頃から使わない限りなかなか身につかないことだと思いますが、留学生と話すときにもっと英語を使うなど、英語を使う機会を増やしていきたいと思っています。

また、VTCでは第4世代移動通信技術及びそれ以降を目指した研究開発の成果が、世界中の大学や研究機関により発表されたため、今回の学会参加は、今現在どのような研究が行われているのかを知る貴重な機会となりました。

ケベックシティ

学会参加に加えて、ケベックシティの観光もしました。ケベックシティは世界遺産にも指定されている城塞都市で、フランス領時代につくられた都市です。そのため、現在でもフランス文化が受け継がれており、フランス語が公用語となっています（ただ、旧市街地（観光地）

では英語も通じました。感想としては、とにかく欧州風の町並みが綺麗で、まるでテーマパークの中にいるような気分です。特に高台から眺めるケベックシティの夜景は印象的でした。

おわりに

今回国際学会に参加する機会を与えてくださった尾知教授と黒崎准教授に、心より感謝致します。また、今回奨学金のご支援をくださった明専会に、深く感謝申し上げます。



ケベックシティ夜景